

JOIN US,
ICR!

令和7年2月14日（金）、令和6年度 大学院生研究発表会が開催されました。今年度は博士後期課程学生20名、修士課程学生48名、計68名の学生によるポスター発表が行われ、活気あふれる研究発表会となりました。化学研究所らしい多彩な研究分野の最新成果が紹介され、研究所教員による厳正な審査の結果、博士・修士それぞれ3名、計6名の優秀者が選ばれました。今回、ポスター発表において最優秀賞を受賞した博士後期課程3年 小見山 遥さん（小野研究室）と、修士課程2年 保田 悠花さん（梶研究室）にお話をうかがいました。



化学研究所は設備もすごく整っていて、魅力を感じました

材料機能化学研究系
ナノスピントロニクス（小野研究室）
博士後期課程3年 小見山 遥さん



有機ELの研究室で様々な技術を習得したいです

環境物質化学研究系
分子材料化学（梶研究室）
修士課程2年 保田 悠花さん



Q1

化学研究所を選んだ理由を教えてください。

小見山さん：学部時代に所属していた研究室から進んでいる方が多かったので、一度見学に行ってみました。学生同士が仲良く活発な雰囲気があり、設備もすごく整っていて、魅力を感じました。宇治は研究に集中できる環境が整っていて、挑戦したいと思いましたし、何より小野研で学びたいという気持ちが強くなり、化学研究所を選びました。



保田さん：工学部の学部生だったので、研究室配属の際にいくつか候補がある中で、たまたま研究室が宇治にある化学研究所だったという感じです。配属人数が少ない分、先生に丁寧に見

ていただけますし、先生のお人柄もよさそうだなと思って、化学研究所を第一志望にしました。

Q2

研究以外の時間はどのように過ごしていますか。

小見山さん：吉田から宇治に引っ越すのがはじめは少しネックだったんですが、今では宇治が大好きになりました。特に、宇治のカフェ巡りが好きで、色々な場所を開拓しています。あと1カ月で引っ越しが迫っているのですが、まだ行きたいところがたくさんあります。

保田さん：休日は家でのおんぶり料理したり、ショッピングモールを巡ったりしています。カメラを持って風景や神社を撮るのも好きです。神社ではご朱印帳を集めたりもしています。先週は富士山にも行ってきました！

Q3

今後の予定や目標について教えてください。

小見山さん：卒業後は、電子部品メーカーに就職で、関西に残る予定です。部署や仕事内容はまだ決まっていないのですが、今よりも社会とのつながりを感じられることを楽しみにしています。

ます。物質や材料の分野で、研究や商品開発で貢献したいと考えています。

保田さん：修士1年の頃から就活もしていたんですけど、やっぱりもう少し研究を続けようと思って、修士2年の4月頃に博士に進もうと決めました。今所属している有機ELの研究室では、具体的な目標というより、様々な技術を習得したいと思っています。



Q4

理系を目指す中高生・大学生へのメッセージをお願いします

小見山さん：宇治には、すごく充実した研究設備があって、サポートも手厚い化学研究所があるということを知らない人も多いと思いますが、視野を広げて色々と調べてみて欲しいです。つい近くで探しがちだと思うのですが、少しだけ範囲を広げてみるといいのかなと思います。

保田さん：色んなことをめいっぱい楽しんで欲しいなと思います。私が高校生の時に、大学で実験させてもらえる機会がありました。有機ELに近い分野の先生にお会いして、おもしろそうだなと思ったんです。そういう体験が進路を考えるきっかけになることもあるので、ぜひ色々と挑戦してみてください。



ポスター発表（博士後期課程）			ポスター発表（修士課程）		
最優秀賞	ナノスピントロニクス	小見山 遥	最優秀賞	分子材料化学	保田 悠花
優秀賞	先端無機固体化学	飯星 真	優秀賞	生体機能設計化学	山崎 太輔
優秀賞	生体機能設計化学	栗山 理志	優秀賞	分子集合解析	足立 裕太

※取材日：2025年3月／学年・所属は取材当時のものです。